

6/15

医療従事者の皆さんの感染予防のため ご寄付をありがとうございます



氷見ライオンズクラブから「新型コロナウイルス感染症に役立ててほしい」とフェイスシールド 400 個のご寄付いただきました。

温かいご寄付をありがとうございます。

市内医療機関などで医療従事者の皆さんの感染予防のため大切に活用させていただきます。

6/25

西部地区の未来を考える ふるさと氷見を学ぶ「ふるさと教育」

身近な地域の自然・歴史・文化・産業などについて学びを深める「ふるさと教育」。西の杜学園の 8 年生は、西部地区の抱える問題について考えながら「起業体験」をテーマに授業を進めています。

市内で地域活性化のため活動されている方を講師に招き「お年寄りが困っていることは何か」という観点から、一人暮らしが多くて頼れる人がいない、若い人がいない、仕事がない、といった問題点を洗い出し、「西部地区に住みたいと思える魅力を作ろう」と解決策を見出しました。

その後、一人ずつ意見を出し合い「子どもも大人も遊べる場所を増やしたい」「こんなお店があったらいいな」などさまざまな意見を共有しました。

今後は、アイデアを実現するために学びを深めます。



6/26

新型コロナウイルスに負けるな！ マスクコンテスト開催・受賞者発表

全国から募集した「手作りマスクコンテスト」の結果発表が市役所で行われ、県内外 12 府県からの約 150 件の応募のうち、最優秀賞 3 点、優秀賞 20 点がお披露目されました。

これは、氷見市の環境を良くする会が新型コロナウイルス感染症の拡大により、全国でマスクが不足したことをきっかけに企画し、4 月 22 日から 5 月末まで募集していたものです。

最優秀賞には「ひみ」の文字で海越しの立山連峰をイメージしたものや、折りたたむとお寿司の形になるもの、天然記念物「イタセンパラ」を大きく刺しゅうしたものなど、氷見らしいものが選ばれました。



食にふれ、食を味わい、食を楽しむ きときとキッズお料理道場

保育園・認定こども園児対象の料理教室「きときとキッズお料理道場」が開催され、園児が氷見の食材を使って楽しく料理作りを体験しました。

2日には、みどり保育園の園児が、3日にはあさひの丘こども園の園児が、食育ボランティアのサポートを受けながら、サゴシの塩焼きや具沢山のおみそ汁作りに挑戦。食材の説明時には実際の昆布の大きさに驚きながら、煮干しと昆布のだしを取り、みんなで協力しながら作り上げました。

自分たちで作った料理をおいしそうに頬張る園児たちからは「魚を焼くのが楽しかった」「手のひらでお豆腐を切るのはドキドキしたけど、できて嬉しかった」という声が聞かれました。

